授業科目名・形態	助産学概論　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	工藤　優子	実務経験の有無	有	開講期	３年前期
科目ナンバリング	N5-3017m				

【授業の主題】

助産師は女性の性と生殖をめぐる健康問題に焦点をあてて援助する専門職である。助産師の職業としての業務内容、責務、職業倫理、役割および基礎となる助産学の基本概念、助産師教育について学ぶ。また、わが国および諸外国の母子保健の動向についても学習する。

【到達目標】

１．助産の歴史的変遷や業務および母子保健の動向から助産の果たす役割を理解する。
２．助産師として必要な職業倫理を理解する。
３．助産師としてのアイデンティティを確立し、助産師の将来的展望を考察する。

【授業計画・内容】

第１回　助産の歴史
第２回　助産の概念
第３回　助産の定義と業務
第４回　助産学を支える理論と助産師が行うケア
第５回　助産師と倫理①
第６回　助産師と倫理②
第７回　母子保健の動向①
第８回　母子保健の動向②

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。
講義中に小グループでディスカッションする。

【事前・事後学習】

講義内容に関する事前学習を毎回２時間以上行ってください。
講義内容を踏まえ、復習を毎回２時間以上行ってください。

【主な関連する科目】

助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、女性の健康支援　助産管理論

【教科書等】

我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座１基礎助産学[１]助産学概論、医学書院

【参考文献】

適宜提示する

【成績評価方法】

筆記試験 100%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

助産師の実務経験あり。実務経験を踏まえ、臨床事例を提示する等により理解が深まるように工夫している。

【学生へのメッセージ】

「助産師国家試験受験科目受講」の必修科目です。
助産学の基礎となる科目であり、歴史や現在の問題など自らも調べ理解を深めましょう。